

平成25年度下半期指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市健康ふれあい農園	所管課	農林園芸課
所在地	岐阜市安食字竹田799番地1		
指定管理者名	ぎふ農業協同組合		
指定期間	平成25年4月1日～平成29年3月31日		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	8,513,000円		
施設の設置目的	農作業体験を通して、自らの健康増進、家族とのふれあい及び農業に関する理解を深める		
施設概要	貸付農地、利用農地、附帯施設(管理事務所、農機具倉庫、物置、便所、堆肥置場、洗い場、園路、休養施設、駐車場、農機具類及び農具類)		

●利用状況

		H25 下半期	H25 上半期	H24 下半期	H24 上半期	H23 下半期
貸付農地利用区画数		226	216	214	211	217
利用状況	一般用区画A(30㎡)利用率	94.7%	94.7%	95.4%	92.4%	99.2%
	一般用区画B(40㎡)利用率	78.1%	76.6%	78.1%	79.7%	78.1%
	一般用区画C(50㎡)利用率	60.7%	45.9%	41.0%	41.0%	37.7%
	身体障害者用区画E(2㎡)利用率	100%	100%	93.3%	93.3%	93.3%
	収穫体験利用組数(組)	1,152	387	1,240	522	1,486
	収穫体験利用人数(人)	3,754	1,192	4,216	1,666	4,802

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応(雑草、有害鳥獣等) ⑤栽培指導 ⑥耕耘機の無料貸出し	①業務日誌より、午前8時出勤、午後5時退社の確認 ②申請受付1名、農園管理3名(交代制)配置 ③JAのHPに掲載(H25.8～) ※掲載ページへのリンクをトップ画面下の場所に分かりやすく設定(H26.2～) ④・随時除草作業実施 ・農園北側の山沿いにイノシシ防除柵を設置(H26.3～) ⑤月1～2回の巡回指導、年2回の栽培講習会実施 ⑥下半期(10月～3月):63件
自主事業・提案事業	①貸付区画利用者からの依頼による有料耕起作業 ②地元スポーツ少年団による食農教育の一環として、貸付区画(50㎡区画)を貸し出す。	①1,200円/10㎡、1,400円/20㎡、1,600円/30㎡ 下半期(10月～3月):5件の依頼を受け実施 ②貸付区画(50㎡区画)にて秋じゃがいもを栽培(9/1～12/15)
施設管理	①日常・定期清掃業務 ②警備業務 ③受水槽、浄化槽点検 ④利用農地栽培管理 ⑤作物残渣処理 ⑥貸付農地の適正管理指導 ⑦除草作業	①日常清掃(トイレ、管理事務所、倉庫/毎日)実施 ②定期巡回(午前9時頃)実施 ③委託業者による点検(年1回) ④作物11種の栽培管理、気象変動に対応した作業変更の実施 ⑤水分排除後、利用農地輪作予定区画にすき込み、土づくりに活用(※H25.11に導入したチッパーにより残渣を粉砕) ⑥未利用貸付区画の緑肥栽培実施、巡回時に随時管理指導実施 ⑦側溝のり面、駐車場等、随時除草作業確認
施設修繕	・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	・農業器具の修繕を営農組織に依頼し、経費を縮減した。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①個人情報保護方針を作成し、適正に取り扱っている。 ②緊急時の対応マニュアルを整備し、台風被害対策を行うなど、適切な危機管理対策を実施した。 ③関係法令を遵守している。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>・貸付区画利用者155人を対象に、H26.2に実施。 ・アンケート質問項目:「年齢」、「住所」、「栽培の経験年数」、「利用頻度」、「管理人の栽培指導等の対応(回数・内容)」、「現在利用中の区画と面積について」、「空いているC区画の分割利用について」、「駐車場の配置」、「充実してほしい支援内容」、「堆肥の無料配布について」、「耕耘機の無料レンタルについて」、「辞退理由」、「ご意見、感想」</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>・回答数 126人 (回答率 81%) ・「年齢」 10～20代:0% 30代:3% 40代:7% 50代:13% 60代:41% 70代:32% 80代:4% ・「住所」 長良:14人 黒野:10人 早田:9人 鷺山:7人 常磐・方泉:各6人 本荘・岩野田・西郷・京町・本郷:各5人 他 ・「栽培経験年数」 1年:12人 2年:7人 3年:10人 4年:9人 5年:10人 6年:5人 7年:7人 8年:4人 9年:2人 10年～19年:40人 20年以上:5人 ・「利用頻度」 ほぼ毎日1% 週に数回37% 週に1回程度42% 月に数回18% その他2% ・「管理人の栽培指導等の対応について」 回数:もつと指導してほしい15% ちょうどよい74% 指導してほしくない2% 大変不満2% その他7% 内容:大変満足3% 満足76% やや不満6% 大変不満2% その他13% ・「現在利用中の区画と面積」 30㎡:68% 40㎡:22% 50㎡:8% 2㎡:2% ちょうどよい:75% やや広い:5% やや狭い:16% その他:4% ・「空いているC区画の分割利用について」 利用してみたい4% 考えていない72% 分割の仕方による9% その他15% ・「現在の駐車場の配置」 大変満足4% 満足75% 不満17% 大変不満2% その他2% ・「充実してほしい支援内容」 簡易物置の設置13% 土質の改善51% 肥料や苗等の販売16% その他20% ・「堆肥の無料配布」 大変満足30% 満足56% 不満7% 大変不満2% その他5% ・「耕耘機の無料レンタル」 大変満足22% 満足51% 不満6% 大変満足3% その他18% ・「辞退理由(辞退予定者のみ)」 時間に余裕がない28% 体調が悪い9% 使用料が高い18% 立地条件0% 他の市民農園を借りる27% その他18% ・主な意見・要望: 使用料が高い、土壌の改良、イノシシの防除対策、排水溝の詰まり改善等</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>アンケートの意見・結果については指定管理者に伝え、指定管理者で改善できるものはお願いしている。 ・貸付区画の土質が悪い ⇒ 堆肥の無料配布や耕耘機の無料貸出し等、掲示物等による更なる周知を含め、引き続き対応策を実施する。 ・管理人の居場所が分からない ⇒ 管理人の居場所が利用者に分かるよう、掲示物等にて周知する。 ・イノシシ対策をしてほしい ⇒ H26.2に農園北側の山中にて、一般狩猟としてイノシシ1頭捕獲 H26.3に農園北側の山沿いにイノシシ防除柵を設置(高さ1m×距離120m)</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	利用申込みが区画数を超えた場合の公平な利用者決定方法を講じるか。	A	A	A
		情報公開、広報の方策	利用者募集PRを実施しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	気象状況に応じた栽培方法を選択しているか。	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	利用者からの意見を聴取しているか。	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	利用者からの意見について、検討・対応策を講じているか。	B	B	B
		利用促進、利用者増の方策	栽培指導を実施しているか。	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	質確保のために体制を整備しているか。	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	専門の栽培指導員を配置しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	利用者へのサービス低下を招くことなく、コスト縮減に努めているか。	A	A	A
		収支計画の妥当性	計画に基づき、遂行されているか。	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか。	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	職員の担当、勤務時間を工夫し、より効率よく業務が出来るよう配置しているか。	A	A	A
		利用料金を徴収する施設の場合、収入の増加を図るための方策	利用者増につながるイベントを実施しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
		区分評価				
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	経営基盤の安定性	経営は安定しているか。	A	A	A
		組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	作物栽培経験、農業機械操作技術を有する職員を配置しているか。	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	スタッフ間の連携がとれた体制が整備されているか。	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	人材育成の方策は策定されているか。	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	自然災害、防犯、事故等の緊急時における危機管理のための方策が確立されているか。	A	A	A
		リスクへの対応能力(資金力、損害賠償能力など)	資金力は十分備わっているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
区分評価					A	
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	地元法人、団体の育成に貢献しているか。	A	A	A
		地元の住民、高齢者、障害者等の雇用	地元農家の雇用に貢献しているか。	A	A	A
		地元での資材等の調達	地元で資材を調達しているか。	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	地元からの要請があった場合に応じられるか。	A	A	A
		その他地元への貢献に関すること	地元開催のイベントに協力しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組みに対する評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イノシシ対策として農園北側の山際に柵を導入し、被害を抑えることに努めた。 ・収穫体験で提供する作物の品質向上を目指して、積極的に堆肥を投入して土壌改善に努めた。 ・体験区画にて散水施設を活用し、収穫体験での作物の品質向上に努め、利用者から好評を得た。
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、農園にて市の事業である「野菜収穫・料理づくり体験教室」に協力し、農園の魅力をPRできた。 ・H25.12に感謝祭(焼き芋やさつまいも、大根、かぶの無料配布)を実施し、利用者から好評を得ることができた。 ・JA各支店やおんさい広場において、ポスターやチラシを設置し利用者拡大に努めた。
<p>今後の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシやポスター等、積極的に施設のPR活動を行う。 ・農園に隣接するJA方県カントリーエレベーターと協力しながら、もみ殻堆肥を積極的に導入し、作物の品質向上に努める。

●所管課の意見

<p>・農園のPRのためH25.12に感謝祭を実施し、農園利用者に喜んでいただけたことは評価したい。来年度も感謝祭等のイベントを実施するよう求める。</p> <p>・土壌改良については、引き続き堆肥の無料提供及び耕耘機の無料貸出しを実施すると同時に、掲示物の充実等、より一層利用者に周知するよう求める。</p> <p>・イノシシの防除対策として、農園北側の山沿いに防除柵を設置したことは評価する。</p> <p>・アンケート結果を参考に農園利用者のニーズを把握し、今後もよりよい環境づくりに努めてもらいたい。</p> <p>・農業委員会実施の食農教育児童実践支援事業において、前回の上半期に引き続き、貸付区画のC区画(50㎡)をさらに8区画借りて、H26年度の同事業に向けた緑肥栽培をしてもらった。地元の子どもの食農教育の場として農園が利用されることを評価するとともに、引き続き農園のPRに努め、利用率が向上するよう求める。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>・感謝祭を開催し、好評を得たということの評価するとともに、今後も引き続き継続していただきたい。</p> <p>・C区画については、岐阜市食農教育児童実践支援事業により利用率が向上したことは評価できる。引き続き、利用率向上に向けて努力していただきたい。</p> <p>・イノシシ対策及びJAぎふのホームページのリンク設定について、適切な対応がなされたことは評価したい。</p> <p>・土壌改良については困難な点もあると思うが、今後も対応に努めていただきたい。</p> <p>・今回チップパーを導入し、循環型農業を目指す取組みを始めたことは評価できる。</p> <p>・アンケート結果を参考に、利用者のニーズに応じたより細やかな指導を今後も心掛けていただきたい。また、循環型農業なども視野に入れながら、施設の利用改善や体験区画の利用促進などを通じた多様な世代による利用促進の取り組みに引き続き努めていただきたい。</p>
--